

## 第125回定例学習会は恒例のソバ例会

1月9日(土)に開催した能海寛研究会の定例学習会は、恒例のソバ例会として、例会終了後に、岡崎会長自慢の手打ちソバを今年もごちそうになった。定例学習会では、能海寛著の『世界に於ける仏教徒』の「第一章、宗教の大革新」を輪読し、難解文字や文意の解釈など互いに研さんを深めた。第2章新仏教徒。第3章宗教学上の仏教。第4章哲学上の仏教。第5章歴史上の仏教。第6章道徳上の仏教。第7章比較仏教学。第8章梵学。第9章仏教国の探検(西藏国探検の必要)。第10章仏教徒の聯合。第11章仏教回復。第12章総会議所。第13章巡礼。第14章海外宣教。第15章仏教学校。第16章仏典翻訳。第17～18章本山政論。と続くので、2年間で予定している。

能海寛は、当初は、『新仏教徒論』として出版を計画していたが、古河勇ら友人の勧めにより、『世界に於ける仏教徒』と名付けた経緯がある。この著書の序文を大内青巒が記述している。「おもしろや散るもみち葉も咲く花もおのつからなる法のみすがた」において、能海寛が提唱している「新仏教徒運動」を「咲く花」と大内氏はエールを贈っている。いずれも法(仏教)で言う「世界海」においては、同じ仏教徒として目的の一つにしていることを表現している。

今後は、引き続き、『世界に於ける仏教徒』の学習を深め、2年後の生誕150年を目指して「能海学」の構築に活かしたいと念じている。



定例学習会の模様



例会後の新春ソバ試食会の模様

### 能海寛研究会今後の日程について

- 3月12日(土) 第126回定例学習会。ときわ会館(浜田市金城町波佐)Pm1:30-4:00
- 3月15日(月) 機関誌『石峰』第21号発行。
- 5月14日(土) 第127回定例学習会。ときわ会館 Pm1:30-4:00
- 7月9日(土) 第4回チベットセミナー開催。ときわ会館 Pm1:30-5:00
- 7月10日(日) 第22回能海寛研究会年次大会&第128回定例学習会。ときわ会館  
Am10:00-Pm4:00(年次総会・会員研究発表・記念講演など)